

楽楽館だより 第225号【令和8年3月度】

春のやわらかな日差しに、少しずつ心もほどける季節となりました。「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、寒さの中にも春の気配が感じられる今日この頃です。菜の花や桃の花を眺めながらのお花見、心を豊かにしてくれる絵画展へのお出かけ、お抹茶を点でて味わうお茶会など、今月も五感で春を楽しむひとときを皆さまと過ごしました。目で見、香を感じ、味わい、語りいながら、春の訪れをゆっくり楽しんでいきます。

◇～ お花見 ～◇



坂川沿いの桃の花や、江戸川の土手に咲く満開の菜の花を散策に出かけました。どちらの日も晴天に恵まれ、絶好のお散歩日和となりました。「菜の花畑に入り日薄れ～♪」と自然に歌声も聞かれ、気持ちのいいひとときとなりました。



◇～ お茶会 ～◇



茶道の心得のある方々にお抹茶を点ていただき、お菓子をいただきながら、いつもとはひと味違う午後の時間。お作法は気にせず、和やかな雰囲気の中で日本文化に親しんでいただくひとときでした。



◇～ 絵画展(流風会展) ～◇

流山市生涯学習センターで開催された絵画展に出かけました。背丈よりも大きな作品もあり、のどかな田園風景や動物、電車など、さまざまなモチーフの絵画を楽しむことができました。のんびりと芸術に触れる穏やかな時間となりました。



◇～ 今月のナイスショット ～◇



楽楽館では、2か月に1回、業務後にスタッフが集まって勉強会を行っています。皆様に寄り添ったより良いケアを目指し、それぞれがスキルアップに向けて励んでいます。勉強会のお茶の時間は、ほっとひと息つけるひとときであるとともに、普段なかなか全員で顔を合わせることが難しいスタッフ同士の大切な交流の時間にもなっています。